

女性会連盟ニュース 55号

Japan Evangelical Lutheran Church Women



ひびき



第25期主題 …主イエスのまなざしと出会う…

神さまに、隣人に、そして社会に仕える

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい ローマの信徒への手紙12章15節

発行:日本福音ルーテル教会女性会連盟・発行者:八木 久美



「虹の架け橋を見上げて…平和・寛容・多様性へ」

虹:主の契約のしるし 虹を見上げつつ 平和を求め、寛容さを携え、多様性へと歩み出す

25期会長 八木 久美

まず、2024年6月7日(金)～8日(土)、「第26回女性会連盟総会・大会」がルーテル教会宣教百年記念東京会堂を会場に開催されましたことへ重ねて感謝を申し上げます。3年に一度、北海道から九州までの各教区女性会に連なる信徒が集う最大の会合は、「それぞれの想いと関係性」を縦糸・横糸に、ある部分は固くある部分は透けるほど繊細で何層にも織り込まれた布のように、現在の有り様を私たちに見せてくれました。

- ・試行錯誤の内に夢中で駆け抜けた三年間を通して・
- 2021年7月2日(金)役員主任式:COVID-19パンデミックの最中、25期役員会は深閑とした東京教会礼拝堂で小勝奈保子牧師(連盟担当)司式によりオンライン参加の24期役員に見守られて、バトンを引き継ぎました。
- 2021年11月22日(月)～23日(火)拡大役員会:1泊2日全役員合同研修会は叶わずとも、公益財団法人JELA(当時は一般財団法人)の会場をお借りして開催。長距離移動が困難な委員と一部個教会会長は書面対応で、牧師教職、連盟役員、各教区会長、協力委員、事務局員が初めて集い、現状報告・課題、今後について活発に意見交換。
- 2022年11/11(金)合同役員会、12(土)役員研修会を東京教会をお借りして開催。新しい連盟担当の平岡仁子牧師、連盟役員、各教区役員、協力委員、事務局員、特別講師

による活動報告、サバ神学院とルーテル神学校支援、第26回連盟総・大会/愛餐会、多文化共生について協議、平和を求める祈りを共有。

■2023年12/2(土)合同役員会:各教区の地域状況の違い、ホームページ・リニューアル、世代間ギャップやジェンダー理解、第26回連盟総・大会/愛餐会と現地実行委員会の進捗状況/議案について、女性会と教会の在り方、連盟/女性会/信徒会への想い等、具体的に協議。

■連盟役員会開催、会報(聖書研究会)/ひびき発行、感謝献金/支援、国内外の被災地へ本教会と連帯支援、次世代へ繋ぐ支援、超教派(各協力委員)と連帯活動、各教区/地区の集い訪問、本教会総会出席、常議員会陪席/報告書提出ほか。
・Hallelujah!! 連盟のミッションをお支えくださいました教職、諸施設/団体、信徒の皆さんに心より感謝いたします・

2024.6.7金-6.8土

詳細は報告書をご覧ください

第26回総会議事案のご案内トピックス (組織/日程/総会諸委員/報告/審議/協議事項)

〈第1号〉 1)組織・2)総会議事日程

1)組織: 〈連盟〉連盟役員、協力委員、担当委員、会計監査
事務局員(教区)東・東海・西・九州 各教区役員

2)総会議事日程: 6/7(金)~6/8(土)

〈第2号〉 総会諸委員・推薦議員推挙

〈第3号〉 第25期諸報告:上記1)連盟/教区役員

〈第7号〉 日本ルーテル 神学生支援の開始 議案

【議案/経緯】

神学生は4年間の学びで、専門科目・教会実習/宣教研修等多くのカリキュラム履修が必須で、生活面(専門書の購入/家賃/食費)は経済的にも厳しい状況です。各教区の会長会・集い訪問で「神学生へ直接届く具体的支援の開始を」との声から、神学生への幅広い全人教育・召命感の醸成へ“ゆとりある生活”を願う議案が可決されました。少子高齢化や若年層の宗教離れが顕著化する厳しい社会の中で、神学生支援が少しでも励ましとなる様に祈り願います。

〈第9号/11号〉 第26期主題・役員紹介 議案

総主題「虹の架け橋を見上げて」

副主題「平和・寛容・多様性へ」

主題聖句「わたしは雲の中にわたしの虹をおく。

これはわたしと大地の間に立てた契約の
しるしとなる」創世記9章13・16節

今、私たちは様々な点で「違っていること」への社会(教会を含め)の不寛容さの中にあることを痛感します。だからこそ主にあって「平和・寛容・多様性」を求め、互いの違いを受容し尊重するものとして祈りと分かち合いによる活動の実践を目指します。

〈第4号〉 第25期会計決算報告

〈第5号〉 会計監査報告

〈第6号〉 サバ神学院神学生支援の終了

〈第7号〉 ルーテル神学校の神学生支援の開始

〈第8号〉 今後の女性会連盟のあり方検討委員会の設置

〈第9号〉 第26期主題と活動方針(案)

〈第10号〉 経常会計予算大綱(案)

〈第11号〉 第26期連盟会長及び新役員承認

〈第12号〉 会計監査承認

〈第13号〉 協議事項:役員の任期について

〈第8号〉 今後の女性会連盟の在り方検討委員会設置 議案

【議案/経緯】

2028年に創立100年を迎える女性会連盟は各教会・各教区の女性たちを支え繋げる役割を担ってきましたが、休会教会の増加や会員数減少の中で「連盟や教区女性会の繋がりと役割、成り立ちと連携を内側からとらえ直し現状・課題を知り、今後について検討する『在り方検討委員会の設置』」議案が可決されました。2024年秋より東教区女性会が先駆けて検討委員会が立ち上がり「ロードマップ、女性会の現状・課題～対策」を作成、地区会毎に交流と話し合いを進めています。

26期役員の皆さまへ 主の慈しみと祝福を祈ります



広報 副会長/会計 会長 書記
中島千麻子さん 沼崎素子さん 谷口和恵さん 室原紫音さん

第26回総・大会現地実行委員会

現地実行委員会による「振り返りの会」が市ヶ谷ルーテルセンター新集会室で開かれました(神庭靖子さん、竹内茂子さん、牧野正子さん、松本奈美さんは当日所用で欠席)。COVID-19の制限で実に6年振り(第25回は九州教区連盟役員、教職、現地実行委員、関係者限定開催)の対面型総会開催へ向けて「日程、会場、会員の高齢化、アクセス、宿泊、経費、ベテランの事務局員交代」を含めた課題へ理解と共に、東教区女性会役員経験者皆様が祈りと熱意と知見やネットワークを持ち寄り、協働で対処してくださったことを覚え役員一同より感謝いたします。

* クチナシ(写真)の花言葉:Transport of Joy 喜びを運ぶ

—現地実行委員皆さまへ—

役員一同 心よりの感謝をクチナシの花束に込めて



〈第6号〉 議案 サバ神学院支援の終了

親愛なる女性会連盟の皆さん

…お手紙の要約より…

ご復活の主イエス・キリストの御名により、恵みと祝福をお祈り申し上げます。

教会を代表して、貴連盟がコロナ禍での困難な状況に於いても、過去30年間にわたる途切れる事のない奨学生支援を継続してくださいましたことへ、心からの感謝を申し上げます。また、コロナ禍での弊学院の事務処理の混乱により奨学生のご報告が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

皆さまが祈りをもち日本国内の神学生支援に焦点を当てる決断をされたことへ福音のリーダー達が多く起こされるように祈ります。今後も良き関係と友情の絆が続きますことを願っております。

BCCM(バーゼル・マレーシア・キリスト教会) ジェームズ・ウォン 司教

2021年度奨学生

サーモン・ジュリアス

-Salmon Julius-1999.3.9生



神学学士課程(BD:4年制最終学年)・バハサ・マレー語学科。ドゥスン族
【証し】クリスチャン家庭に育ち2007年高校卒業後、タワウでコンピュータ技術者助手として勤務。2014年神学体験プログラムに参加し専任の奉仕者を志すようになりました。BCCMパモル教会で2年間研修・礼拝説教にも携わり、2021年神学学士課程に入学しました。

2021年度奨学生

ヴィヴィアン・クリスティン・マーティン

-Vivian Christine Martin-1999.6.22生



神学専門課程・1年次・マレー語学科。ムルット/カダザン族
【証し】高校卒業後、事務職勤務。2016年神の召命に応え、STS主催の短期宣教プログラム参加。2017-2018年BCCM フェルダ・ザハバット教会で研修牧師として奉仕。2019-2020年はサンダカンのBCCMガムガム教会、レカ・ハルス伝道所で奉仕。現在は専任の奉仕に備え、神学ディプロマ課程(Dip.th)で学んでいます。

■神学専門課程(Dip.Th=Diploma in Theology)神学基礎修了資格。牧師/伝道師/教会スタッフを目指す。■神学学士(BD:Bachelor of Divinity)学位取得。専門性を深め牧師、伝道師、教育者を目指す。

■短期宣教プログラム(Short-Term Mission Program)

2021年度奨学生

レベッカ・リュー・イット・ジェイン

-Rebeca Liew Yit Jein-1993.10.25生



神学学士課程(BD:最終学年)・中国語学科。中国系

【証し】クリスチャン家庭出身。ユースキャンプで召命を受け高校、コタキナバルのホテル経営課程修了後、BCCM中国語総会のプレ神学校プログラムを経て2018年サバ神学院に入学。21年11月卒業後はサバ州タワウの中国語教会でユースミニストリーに従事の予定。JELCWIによる4年間の奨学生支援に深く感謝しています。

2022年度奨学生

チャン・ズイ・チン

-Chan Zhi Qin-1992.10.7生



神学学士課程(BD.2年)・中国語学科。中国系

【証し】13歳で教会に通い始め、21歳で信仰を深めながら、28歳で教会の必要に応えて神の召しに従い、ジョホール州BCCMスクダイ教会でパストラル・アシスタントの奉仕経験を通して専任の奉仕者への思いが強まりました。2021年にSTSに入学。2024年11月卒業(予定)後は中国語総会の教会へ配属され、引き続き奉仕の予定です。

2022年度奨学生

ヴィヴィアン・クリスティン・マーティン

-Vivian Christine Martin-



【評価】神学ディプロマ課程2年次は学生の靈的リーダー育成組織の会長として、礼拝や交わり、会合など積極的に参加。BCCMテリポク教会で週末に女性会、青年会、子ども向け奉仕に携わり、2022年後期は優れた成績を収めながら、リーダーの働きやコロナ後のオンライン授業への対応など、困難も多い年でした。

2023年度奨学生

シン・テット・ユエン

-Syn Tet Yuen-2000.2.26生



神学学士課程(1年次)・中国語学科。中国系
【証し】幼少より教会に通い、2018年短期宣教課程に参加。神の召しを受け教会で奉仕を開始。BCCM中国語総会のプレ神学校プログラムで2年の準備期間修了。2023年神学学士課程入学、2026年11月卒業後はBCCM教会のいずれかに配属され専任の奉仕者を続ける予定です。

2023年度奨学生

ヴィヴィアン・クリスティン・マーティン

-Vivian Christine Martin-



【評価】神学課程3年次進級、学生会(OP)の会長に選出。学生と教職員の橋渡しや会議の運営、学生の代弁など、多くの責任を担う。週末はBCCMトゥアラン教会や、女性会、ユースプログラム、子どもミニストリーなど積極的に奉仕。多忙ながら学業成績は優秀でリーダーの責任と学びを両立し、2023年は信仰・奉仕・学びの面で大きな成長の年となりました。

第25期役員より ごあいさつ

前例のないCOVID-19パンデミック下に祈りと励ましとアドバイス、ご指摘を含め、本当に多くのお支えをいただきました。主のみ手の内に共に泣き、笑い、悩みながら、違いを認め合う難しさや、それでも主にあって諦めないことを共感できた大きな恵みに感謝いたします。

*訂正のお知らせ*会報168号「NCC かねない表記がありました。藤ジエンダー正義に関するポリシー策定の 原佐和子様はじめ関係者皆さまためのワーキンググループ」掲載文中、にご迷惑をお掛けしましたこと機関紙るうてるからの抜粋で、内容をお詫びして訂正させていただの時系列/抜粋箇所等に誤解を招き きます。別紙参照

主の慈しみと皆さまのお支えに感謝いたします



広報 広瀬美由紀 会計 立野照美 副会長/書記 徳弘由美子 会長 八木久美 牧師 平岡仁子



ルーテル世界連盟LWF・日本福音ルーテル教会JELCの連帯献金 ご案内 － 人災・天災の被災地へ 祈りと支援の輪のご協力を －

† 『ロシアによるウクライナ軍事侵攻へ
人道支援の呼びかけ』
ウクライナ諸教会・人々の支援へ連帯献金
－期間延長受付中－



■連帯献金送付先

郵便振替:00190-7-71734
口座名:「(宗)日本福音ルーテル教会」
「ウクライナ人道支援」※ご明記ください

∞ 一わたしたちは 即時停戦と平和を 求めます∞

■わたしたちは、ロシアによるウクライナ軍事侵攻を深く深く、憂慮します。戦争におびやかされているあらゆる人々の安全といやしを何より祈りつつ、すべての暴力に反対し、即時停戦と平和を求める“ルーテル世界連盟(LWF)の声明”に賛同します。

† 『能登半島地震・豪雨被災地へ復興支援を』
－期間延長受付中－



■連帯献金送付先

郵便振替:00190-7-71734
口座名:「(宗)日本福音ルーテル教会」
「のと被災地支援」※ご明記ください

∞ 一ログキャビンプロジェクト∞

約8割の建物が全半壊判定を受けている輪島市町野(まちの)町でのログキャビンプロジェクト(3月より呼びかけ開始)。第一段階では、栗倉医院跡地に町の復興シンボルとして「広場」を作り、地震・豪雨で壊滅的打撃を受けた町の賑わいを取り戻そうと実行委員会は奮闘中です。ルーテル教会は新たにこの取り組みを応援します。ログキャビン一棟材料費30万円。まずは一棟を目標に。

† 一ミャンマー地震被災へ救援・復興支援を－



■連帯献金送付先

郵便振替:00190-7-71734
口座名:「(宗)日本福音ルーテル教会」
「ミャンマー地震救援」※ご明記ください

■3/28ミャンマーでマグニチュード7.7の地震が発生し、大きな被害状況の中で、電気や水道が普及途中の地域がある一方、震源近隣地域では食糧や医薬品が不足する状況下で感染症への深刻な懸念が高まっています。4年前のクーデター以降、軍と民主派勢力間の激しい戦闘から逃れ故郷を追わってきた国内避難民は350万人以上

† 『パレスチナ支援ルーテル世界連盟LWF
エルサレムプログラム』－期間延長受付中－



■連帯献金送付先

郵便振替:00190-7-71734
口座名:「(宗)日本福音ルーテル教会」
「パレスチナ支援LWFエルサレム
プログラム緊急募金」※ご明記ください

† 『ACTJapanフォーラム 緊急支援募金』

∞ アクト・アライアンス∞



■募金送付先

①郵便振替:00180-4-75788
加入者名:日本キリスト教協議会
ACTジャパン 通信欄に「ガザ紛争」※ご明記ください
②銀行口座:三菱UFJ銀行 高田馬場支店
普通:2255233
名義:ACTJapan Forum「ガザ紛争」※ご記入ください

∞ 一わたしたちは 即時停戦と平和を 求めます∞

■ルーテル世界連盟(LWF)は、2023/10月にイスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘の勃発により、壊滅的な状況下にある現地の人々の命と尊厳を守るため、緊急支援を継続中です。ガザでは病院の大半が機能せず、医薬品不足も深刻です。長引く戦闘で住居の8割が破壊され、水や食料、電気もない中で人々が飢えや寒さで命を落としています。■東エルサレムのオーガスター・ヴィクトリア病院では、医療物資の提供とガザから患者の医療避難を優先的に受け入れながら、医療チームの派遣に取り組み中ですが、西岸地区も緊張が続き、多くの人が避難を余儀なくされており、LWFの職業訓練校や病院スタッフも、移動の自由が奪われ活動は大きく制限下にあります。祈りとご支援をお寄せください。

■また、アクト・アライアンスを通じても、現地支援のための募金が広く世界の教会に呼びかけられています。

† 『ACTJapanフォーラム 緊急支援募金』
∞ アクト・アライアンス∞



■募金送付先

①郵便振替・②銀行口座はパレスチナ支援と同じ。通信欄・献金指定先に「ミャンマー地震」※ご明記ください

にのぼると言われています。今回の大地震により「戦闘」と「地震」の二重被害の中にある人々へ、復興に必要な重機等、医療体制の不備や医薬品不足への息の長い支援が必要です。祈りとご支援をお寄せください。

■また、アクト・アライアンスを通じても、現地支援へ募金が広く世界の教会に呼びかけられています。